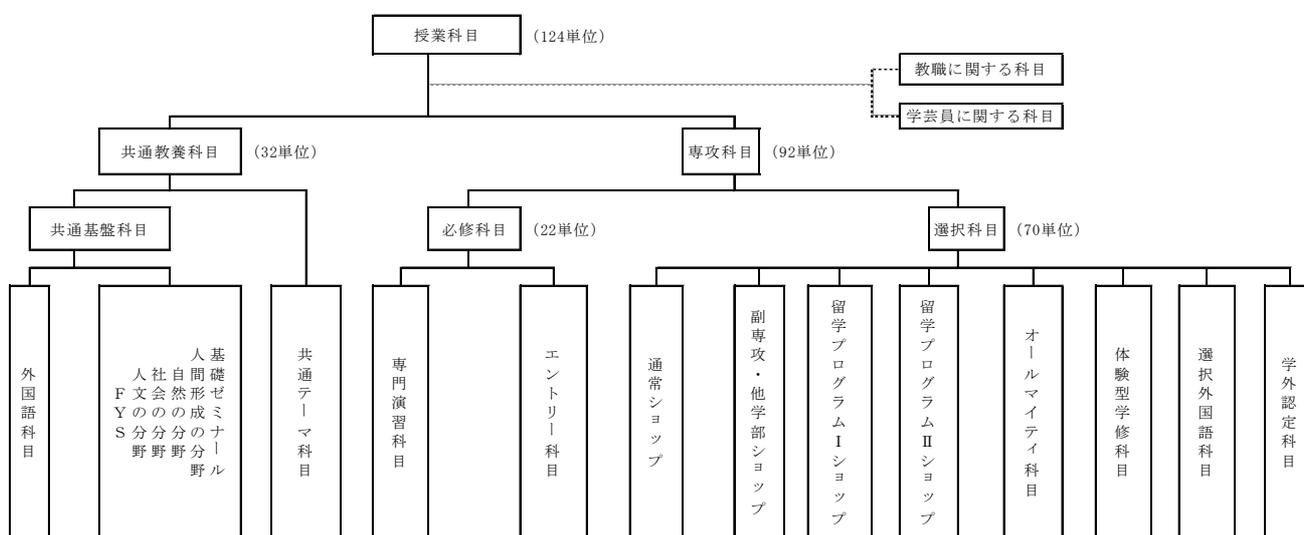


# 国際経営学科のカリキュラム（2014年度入学者から適用）

経営学部国際経営学科のカリキュラムは、湘南ひらつかキャンパス共通教養科目と経営学部の専攻科目によって構成されています。共通教養科目は、国際社会において活躍できる幅広い教養を身につけた国際人の養成のための科目群であり、共通基盤科目と共通テーマ科目から成ります。共通基盤科目は、幅広い分野における教養、基礎学力、ジェネリックスキルの育成を目的としています。共通テーマ科目は、新たな知や価値の創造に挑戦し、学際的な物の見方や考え方について知識を深めるための科目です。

国際経営学科の専攻科目は、卒業までに必ず履修するエントリー科目、専門演習科目と、選択して履修するショップ科目、オールマイティ科目、体験型学習科目、およびその他の選択プログラムによって構成されています。

<図表1 国際経営学科のカリキュラム体系>



<図表2 共通教養科目の卒業要件>

授業科目	共通教養科目								共通教養科目 合計
	共通基盤科目							共通テーマ科目	
	FYS(必修)	外国語科目(必修)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	基礎ゼミナール		
入学年度									
2014年度以降	2	8	4	4	4	2	2	2	32
			4						

<図表3 専攻科目の卒業要件>

授業科目 入学年度	専攻科目										専攻科目 合計
	必修科目		選択科目								
	専門演習科目	エントリー科目	ショップ科目				オールマイティ科目	体験型学修科目	選択外国語科目	学外認定科目	
			通常ショップ	副専攻・他学部ショップ	留学プログラムⅠショップ	留学プログラムⅡショップ					
2014年度 以降	8	14	70								92

経営学部国際経営学科では、1989年の創設当初より、一般の経営学部で教授されるマネジメントの専門性に加えて、国際性および国際経営を取り巻く経営環境の研究に力点を置いて教育内容を充実させてきたという歴史があります。

具体的には、国際経営を機能、環境、そして地域という分類から立体的に捉えた教育プログラムを実践してきました。その第1は、マネジメントに直接関連する分野（経営戦略、経営組織、購買、生産、マーケティング、研究開発、人的資源、財務、会計、法務などの経営諸機能）、第2は、経営組織を取り巻く経営環境面に関する分野（政治、経済、法律、技術、社会、文化、スポーツなど、経営の外部および内部環境）です。そして、第3に、地理的領域を捉え、事業展開を行う国ないし地域に関係する分野、およびコミュニケーションに関わる分野として国際経営の領域的側面を把握するものです。

創立からおよそ10年間にわたっては、3つの基軸から国際経営学科を形成してきた上記3分類でしたが、次の10年間は、より時代のニーズに応える形で、マネジメント、会計、経営環境、国際コミュニケーション、スポーツ&マネジメントの「5コース制」が採用されました。そして2014年度からは、将来「なりたい自分になる」ために、専門性に加え、より学生の自主性と社会性を涵養する目的で、15の専門科目群によって構成されるキャリア・ショップシステムを導入するに至りました。こうした変遷においても、経営学部国際経営学科のもつ専門性と国際性、そして経営環境の重要性への配慮という理念は創立以来一貫しています。

さて、最新のキャリア・ショップシステムにおいては、経営学部国際経営学科における研究と教育の内容が、より学生個人個人の将来のキャリアに結びつけた形で配置されており、本学部での学修成果が社会に出てからの実践の基礎となるように、学生自らが選択し、率先して履修することができるように開発された履修形式となっています。

各科目群の学修目的と、学修によって身につく知識・能力は以下のとおりです。卒業後に向けて、どのような知識を得たいか、どのような能力を開発すべきかを考えて、ショップと科目を選択してください。

<図表4 国際経営学科専攻科目のねらいと身につく知識・能力>

科目の種類	科目のねらい	科目名(基礎)	科目名(応用)	身につく知識・能力
専門演習科目	担当教員の専門領域に関して、研究テーマ設定から調査、分析、論文作成・発表までを学修する	演習Ⅰ, Ⅱ	演習Ⅲ, Ⅳ	問題意識をもって情報を集め、得られた情報を分析して結論を得る思考力を磨く テーマ設定から発表までの研究活動をとおり、P-D-C-Aのマネジメント・サイクルを習得する グループワークや討議等によって、コミュニケーション能力や柔軟性を養う
エントリー科目	キャリア形成意識の定着と基礎学力の修得	異文化間コミュニケーション 会計の基礎 キャリア形成論 経営の基礎 コンピュータ演習 文章表現法 情報処理演習		大学での学びの意義と方法を理解し、基礎学力を身につける
国際社会と異文化理解	国と国、国と人々の関係を学ぶ	国際社会論 世界史 国際関係論 国際機構論		国際社会に生きるための自覚と教養を養う 多様な人々とコミュニケーションができる力を養う
	異文化に接する	国際コミュニケーション 多次元文化社会論 日本語教授法		
	人と人のコミュニケーションを学ぶ	コミュニケーション論 身体表現法		
	海外の大学で言語と文化を学ぶ	スタディー・アブロードⅠⅡ		
国際地域	世界各地の事情を幅広く深く学ぶ	国際地域論(オセアニア、北アメリカ、東アジア、ロシア・中央アジア、中東・アフリカ、東南アジア、南アジア、ラテンアメリカ、ヨーロッパ)		視野を拡大し、世界各地の政治経済、歴史、文化などを理解する
英語で学ぶ経営学	経営学の基本と国際経営を英語で学ぶ	ManagementⅠⅡ International Business Japanese Business		国際社会で活躍するために必要な知識と、英語での表現力を身につける
	日本の文化・社会を英語で学ぶ	Introduction to Japanese Culture Social Problems		
	異文化と国際関係を英語で学ぶ	Cross-cultural Communication International Relations		
マネジメントベーシック	「経営とは何か」を総合的に理解し、専門科目に進むための基礎を学ぶ	経営学総論 経営環境概論 経営管理総論 経営史 マーケティング論 企業の社会的責任論 経営学説史	会社法Ⅰ 経営組織論	経営学の基礎的な知識を身につける
マネジメントアドバンス	経営学の各専門分野に関する詳しい理論を学ぶ	経営戦略論 企業と広告 経営計画論 日本経営史 マーケティング戦略論	e ビジネス論 コーポレート・ガバナンス論 人的資源管理論 会社法Ⅱ ベンチャー論	経営学の各専門領域を深く学ぶことで、専門性を獲得する
国際ビジネス	国際経営を研究する	国際経営論	国際比較経営論 国際マーケティング論 多国籍企業論	異なる価値観と文化を乗り越えて事業活動を行うための、幅広い視野と感性を養う
	国際ビジネスの実践を学ぶ	貿易商務論	国際ビジネス・コミュニケーション事例研究 国際ビジネスと契約 国際法務	
情報とメディア	情報と情報処理を学ぶ	プログラミング入門 情報システム設計論 情報デザイン プログラミング応用	情報と職業 Web プログラミング データベース論	情報通信技術に関する深い知識を習得し、問題解決にあたるための技術を身につける
	通信を学ぶ	コンピュータネットワーク論Ⅰ	コンピュータネットワーク論Ⅱ	
	メディアと映像を学ぶ	経営メディア論	メディア研究	
経済学・ファイナンス	企業を取り巻く経済環境および企業金融の理論と実践を学ぶ	確率・統計 マクロ経済学 ミクロ経済学 銀行論 コーポレート・ファイナンス 金融論 ファイナンス	国際金融論 証券市場論	経済学の基礎と応用を理解し、企業金融の手法を習得する
会計ベーシック	会計の基礎を学ぶ	簿記原理 会計学原理 会計監査総論 原価計算入門 簿記演習Ⅰ 会社簿記 原価計算の基礎 制度会計論	経営分析の基礎 国際会計総論	会計に関する諸側面の基礎力を身につける
会計アドバンス	より発展的な会計の諸理論と技術を学ぶ	会計監査基準論 コンピュータ会計 非営利企業会計論 簿記演習Ⅱ	管理会計の基礎 現代の管理会計 上級簿記 税法 経営分析の応用 国際会計基準論	会計の応用力を身につけて活躍の場を広げる
オペレーションズ・マネジメント	商品の企画から生産、物流、販売までの実践的な手法や知識を学ぶ	知的財産権と情報倫理 商品企画設計論 生産マネジメント サプライチェーン・マネジメント データ分析論 流通論	品質管理論 経営情報論 損害保険論	モノづくりから販売までの実践的な手法を習得する
公共・地域マネジメント	公的組織や地域に根ざした企業の活動について学ぶ	地域社会論 政府と財政 民法ⅠⅡ 自治体経営論 社会福祉論	地域経営論 中小企業論 ソーシャル・ビジネス 地方財政	地域の課題を知り、問題解決に取り組む力を養う

現代社会の 教養	自然・人間・社会に関する基礎的な理論を学ぶ	日本社会論 国際政治学 I II 社会学概論 宗教学概論 I II 哲学概論 I II 産業社会論 地理学(含地誌)		知の体系を学ぶことで考える力を養い、現代社会の問題解決に活かす
ヘルスケア・ マネジメント	健康な人生を支えるための知識を得る	アスリート栄養学 一般栄養学 運動生理 保健衛生論		健康に関する科学的な知識を得て、自己管理能力を高める
	健康な人生を支えるために体験的に学ぶ	救急措置法 生涯スポーツ演習 I II 身体運動科学 体力診断 の理論と実際 養生法		
スポーツ・ マネジメント	スポーツに関する科学的知識をどのようにマネジメントするかを学ぶ	スポーツ経営総論 スポーツ心理学 スポーツマンシップ論	スポーツ社会論 スポーツ文化論	スポーツ・マネジメントの体験的な学修をとおして、指導力やコミュニケーションの力を高める
	スポーツ・マネジメントを体験的に学ぶ	競技スポーツの基礎 競技スポーツ I II III スポーツ異文化体験 トレーニング論	コーチング論	
オールマイティ 科目	キャリア形成に取り組む	キャリア・ワークショップ キャリア モデル研究	キャリア・ワークショップ・サポート	多様な学びを選択し、自己の能力開発に活かす
	主体的な学修に取り組む	専門入門演習		
	経営の実務に触れる	寄付講座(銀行業務論) 寄付講座 (中小企業経営論)		
体験型学修科目	実社会での就業体験や課題解決に実践的に取り組む	短期インターンシップ 長期インターンシップ I II 地域プロジェクト 実習 I II 体験学修チャレンジ		体験学修により問題意識を養い、自己理解と自己啓発の力を磨く